

力を入れます！

子育て支援・教育の充実

- ・子ども医療費 18 歳まで無料・出産費用ゼロ・できたてをみんなが食べられる中学校給食
- ・認可保育園の増設・学童保育への支援増・少人数学級の推進、教員の多忙化解消

介護・医療の拡充

- ・特別養護老人ホームの増設・国保料・介護保険料の値上げストップ 窓口負担の引き下げ
- ・コロナ対策の拡充・医療機関への直接支援・無料低額診療への支援など

交通の改善 中小企業支援

- ・生活道路・歩道の整備・地域公共交通網の充実
- ・横浜経済の要の中小企業の支援、公契約条例の制定・インボイス制度導入中止

平和・気候危機打開 ジェンダー平等

海外 15 都市と姉妹・友好都市、パートナー都市の連携協定を結ぶ国際都市として、核廃絶・世界平和に寄与するために 9 条を生かした都市間交流・外交を進める。気候危機に向き合い CO2 削減目標を引き上げ、再エネ導入に力を入れる。男女間の賃金格差の解消、あらゆる性差別を許さない。

鶴見をもっといい街へ。



あなたのアイデアを教えてください
困っていることも教えてください

日本共産党鶴見区委員会 宛

FAX : 045-504-7331 メール : jcp194138@outlook.jp



市民の願いが実り

北寺尾の

まちのはらっぱ 公園になります



2024年オープン



公式LINE
ニュース配信
登録してね



木佐木 前県議会議員
ただまさ

鶴見をもっと
いい街に！

党をつかって100年

日本共産党



古谷 横浜市会議員
やすひこ



公式LINE
ニュース配信
登録してね

市民の声で 閉鎖から存続へ

住宅地のど真ん中に残された貴重な空間である「まちはらっぱ」。閉鎖案が出されましたが、多くの地域住民から「残してほしい」という声にこたえて鶴見区役所も奔走して市に働きかけなどをした結果、「街区公園」へと生まれ変わり、基本的に広場はそのまま残ることになりました。そして公園として必要な施設や周辺環境の整備も進められることになりました。

正式名称やどんな設備をつくるかはまだ未定です。これから皆さんの声をぜひ寄せてください。

北寺尾 まちのはらっぱが 2024年公園となります



草地の広場



ブロック擁壁



はらっぱ
の現状

土の斜面



草地の小広場



土留め（コンクリート製）



入り口



サクラ



※枯れ枝は、
9月に剪定予定

※枯木の
ため、9月に
伐採予定

通り道



<市作成資料より>

入り口



2022年
スケジュール
2023年
2024年

地域の方々と意見交換をしながら「どんな公園にするか」を検討し、計画案を策定。

計画案に基づき設計、工事着手。

公園完成予定。

いま出されているご意見

- ・盆踊りができるように広場は今の広さがほしい。
- ・水道がほしい。
- ・防災施設がほしい。
- ・2つの入り口は通り抜けできるようにしてほしい
- ・あまり改変せず現状の状況をなるべく生かしてほしい
- ・桜は残してほしい。一方で安全性が心配だ

主な公園施設の例

- ・水飲み・ベンチ・植栽
- ・照明灯・広場・園路
- ・園名版・車止め

どんな公園にしたいか
みなさんの声を
届けてください。

